

案件1 東松山市新ごみ処理施設整備について【事業発案段階】

参加事業者数：2社

参加事業者（業態）	主な対話内容
プラント	熱利用については、採算性を考慮しなければならない。
プラント	臭気対策は必要となる。ガス化溶融炉の場合は、前処理として乾燥工程は必要と考える。
プラント	近年はストーカ式を採用する傾向となっている。溶融炉は高温下における炉の劣化に対する修繕と運転用の助燃材が必要になるため、コスト面、環境面からの課題が多い。
設計	東松山市全体を踏まえたエネルギー地産地消を考えてはどうか。
設計	脱炭素の取組として、処理物をペレット化し、バイオマスボイラーを病院などの公共施設に設置し運転させることでバイオマス由来の給湯が可能となるというものもある。